

## ●札幌市旧永山武四郎邸および札幌市旧三菱鉱業寮のリニューアルオープンについて

2016年4月から保存活用工事のため休館していましたが北海道指定有形文化財である「札幌市旧永山武四郎邸」と付設する「札幌市旧三菱鉱業寮」(以下「永山邸等」という。)がリニューアルし、6月23日から一般公開します。

今回の保存活用工事では、主に旧三菱鉱業寮の耐震改修を含む保存修理と活用整備を行ったものです。旧永山武四郎邸は従来通り観覧施設とし、旧三菱鉱業寮はカフェレストランや新たに展示スペースを開設するほか、和室の有料貸し出しを行います。

多くの市民・観光客の方々にお越しいただき、札幌の文化財を身近に感じていただきたいと思います。

### 1 永山邸等のリニューアルについて

#### (1) 一般公開・貸室開始日

6月23日(土)

#### (2) 所在地

中央区北2条東6丁目永山記念公園内

#### (3) 目的

市民が文化財に親しみ、その知識と理解を深めることができる場を提供するため、貸室のほか、永山邸等や周辺地域の歴史・魅力を伝えることができる展示・施設を設置する。

#### (4) 保存修理工事・活用整備工事

##### ① 保存修理工事

- ・旧永山武四郎邸の一部外壁補修
- ・旧三菱鉱業寮の基礎補強、耐力壁増設等の耐震改修

##### ② 活用整備工事

- ・車いす等利用者駐車場および旧三菱鉱業寮にスロープ、多目的トイレを新設
- ・旧三菱鉱業寮に飲食事業を展開できる施設を整備

#### (5) 改修費等

約2億4000万円

#### (6) 主な展示・施設

##### ① 旧永山武四郎邸

- ・永山 武四郎に関する紹介パネルを更新

##### ② 旧三菱鉱業寮

- ・大正から昭和初期の雰囲気を持つ建物の魅力をくつろぎながら感じる事ができ、和洋折衷のメニューを味わうことができるカフェレストラン「ナガヤマレスト」を開設
- ・永山邸等の建築様式や苗穂地区・北3条通の歴史について紹介するパネル※、デジタルサイネージ(タッチ型・非タッチ型)を設置
- ・市内文化財施設を閲覧できるタブレット端末を設置
- ・和室3部屋を有料で貸し出し

※一部展示パネルは、携帯電話・スマートフォンの専用アプリを使用してQRコードを読み取ることで、外国語(英語・中国語・韓国語)の文字と音声で確認できる「ユニボイス」を導入



▲旧永山武四郎邸



▲旧三菱鉱業寮



▲カフェ内観イメージ



▲旧三菱鉱業寮内の展示コーナー

## 2 内覧会・オープニングイベントについて（いずれも永山邸等で実施）

- (1) 地域・関係者向け内覧会：6月13日（水）13：00～17：30
- (2) 報道機関向け内覧会：6月20日（水）10：00～11：30
- (3) オープニングセレモニー（招待客のみ）：6月22日（金）10：30～11：30  
秋元市長や来賓によるあいさつ、テープカット、ミニコンサートなどを行う。

## 3 永山邸等の施設利用等について

- (1) 営業時間・休館日
  - ① 観覧：9：00～22：00（カフェレストランは11：00～22：00）
  - ② 貸室：9：00～21：00
  - ③ 休館日：毎月第2水曜日（祝日の場合はその翌平日）、12月29日～翌年1月3日

### (2) 観覧料・貸室料

- ① 観覧料：無料
- ② 貸室料：

室名	午前（9～12時）	午後（13～17時）	夜間（18～21時）	1日
和室A（33㎡）	1,000円	1,200円	1,500円	3,000円
和室B（46㎡）				
和室C（22㎡）	700円	850円	1,000円	2,000円

※営利・営業の目的で使用する場合は、加算料金あり

### (3) 問い合わせ先

指定管理者：「NC・MMS永山邸等運営管理共同事業体（代表団体株式会社ノーザンクロス）」  
電話：232-0450、ファクス：232-0451、ホームページ：<http://sapporoshi-nagayamatei.jp/>

## <参考>

### 1 施設のあゆみ

#### (1) 歴史

- 明治10年代：永山 武四郎が屯田事務局長時代に私邸として建設  
明治44年：三菱合資会社が永山武四郎邸を買収  
昭和12年頃：三菱鉱業セメント株式会社が三菱鉱業寮部分を増築  
昭和60年：三菱鉱業セメント株式会社が札幌市に両施設を寄贈（敷地は札幌市に売却）  
昭和62年：旧永山武四郎邸が北海道指定有形文化財に指定  
平成元年：永山記念公園設置、旧永山武四郎邸開館  
平成18年：旧永山武四郎邸の保全改修・可能な範囲での復原工事を実施  
平成25年：保存活用の検討を開始

#### (2) 建物の特徴

##### <旧永山武四郎邸>

- ・第2代北海道庁長官、屯田兵司令官、第七師団長などを歴任した永山 武四郎の私邸であり、明治前半期の北海道の上流住宅
- ・開拓使が手掛けた和洋住宅様式の特徴が残る
- ・天井には、高度な技術を必要とする中心飾※が付けられており、「豊平館」や「清華亭」と類似している

※天井の中心に設えられた照明具の釣り元の円形の飾りで、木摺（きずり）という下地の上に、漆喰（しっくい）を塗って仕上げたもので、左官職人の高度な技術が求められる

<旧三菱鋳業寮>

- ・北海道では希少な民間企業保有のクラブハウスが現存する建物であり、ハーフトインバーモチーフ※や丸窓など大正昭和初期のモダンな洋館のデザインが特徴  
※柱や窓台等の軸組を隠さず、その間を漆喰や石などで仕上げた西洋木造建築の一手法

**2 保存活用事業の経緯・スケジュール**

- 平成 26 年度 「旧永山武四郎邸及び旧三菱鋳業寮保存活用基本計画」策定
- 平成 27 年度 「旧永山武四郎邸及び旧三菱鋳業寮活用方針」策定、基本実施設計
- 平成 28 年度 保存活用工事開始
- 平成 29 年度 保存活用工事終了、指定管理者選定、展示制作

問い合わせ先

市民文化局文化部文化財課 田中、北野

電話：211-2312、ファクス：218-5157